

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1965
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.58, No.8 (1965. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19650801-0093

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

論 説

第一インターナショナル形成期における

マルクスとエンゲルス(その一)……………飯 田 鼎

——マルクス主義における

民族、階級および体制の問題——

日本資本主義の再生産構造分析試論……………井村喜代子

——昭和三五年「産業連関表」を

手がかりとして(三)——

アダム・スミスとエドモンド・バーク(三)……………白 井 厚

——その社会観と経済思想をめぐって——

書 評

小島 清著

『日本貿易と関税引下げ』……………深海博明

——ケネディ・ラウンドの効果——

新刊紹介

前号目次

論 説

日本資本主義の再生産構造分析試論……………井村喜代子

——昭和三五年「産業連関表」を

手がかりとして(二)——

集団的厚生の大化概念の一形成過程(二)……………松 浦 保

——パンタレオーニ、パレート、

パロイーネをめぐって——

書 評

杉原四郎著

『マルクス経済学の形成』……………飯田裕康

ロバート・ソロー著

福岡・川 又訳

『資本理論と経済成長』……………田 中 宏

新刊紹介

編集後記

宇尾野教授による論文は、最近に至り批判の対象とされて来た、いわゆる「国王自由人学説」、また、その学説の中核とみられているドイツのテオドル・マイアーを首とするコンスタンツ学派の来日等、斯界に話題を提供した一連の動向の内、教授の長年に亘る研鑽の一端を示されたものである。寺尾誠助教授の力作も、主題に關する一応のしめくりであるが、七月末、留学のためドイツへ旅立たれた同氏の今後の大いに期待されるものである。また、高橋房二氏は、本塾通信教育部出身の篤学の士で、現在は高崎経済大学で教壇に立って居られる。

以上三篇の論文に、書評、紹介を配した本号は、学会誌としての本来のあり方を十分に反映するものと自負する次第であるが、勿論これは投稿された方々の力なので、編集責任者はせいぜい督促係であつたにすぎない。こういった状況は、編集責任という重荷を軽減してくれるので、たしかに喜ぶべきことである。しかし、学術雑誌の編集者は、単に原稿督促吏で済んでいかどうかということになると話は別で、何かそこに一つの方向を持った意欲的な編集が行われて然るべきだという気がする。それではなくては編集後記の存在理由もないではないかというのが編集(?)を終えての弁である。

(速水)

昭和四十年八月一日発行

◎ 三田学会雑誌 第五十八巻 第八号

定価 一二〇円(送料)

東京都港区芝三田二丁目二番地

慶應義塾経済学会

編集兼 代表者 遊 部 久 蔵

発行人 電話三田(43)二二一一

振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者 東京都港区芝三田豊岡町八番地

図書印刷株式会社

安 倍 七 郎

半年予約購読料(送料共) 七二〇円

一カ年 " " 一四四〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

発 売 所 東京都高輪局区内三田綱町一番地

慶 應 通 信

振替口座番号 東京一五五四九七